

2018年12月18日
全但バス株式会社
ヤマト運輸株式会社

全但バスとヤマト運輸が、 訪日外国人のお客さま向けに手ぶら観光サービスを開始

～^{きのさき}城崎温泉～
～城崎温泉～大阪間の手荷物輸送で、関西地域初の「観光支援型」客貨混載を実施。
送り状を手書きする必要もなく、スムーズで快適な手ぶら観光を実現～

全但バス株式会社（代表取締役社長：桐山 徹郎、以下「全但バス」）とヤマトホールディングス傘下のヤマト運輸株式会社（代表取締役社長：長尾 裕、以下「ヤマト運輸」）は、本年12月19日より、関西地域で初めて、高速バスによる「観光支援型」客貨混載を活用した新しい手ぶら観光サービスを開始しましたので、お知らせします。増加する訪日外国人のお客さまのより快適な観光を実現します。

記

1. 背景

全但バスとヤマト運輸は、2017年6月より兵庫県豊岡市の神鍋地区において、路線バスで宅急便を輸送する「客貨混載」を開始しました。過疎化や高齢化が特に顕著な中山間地域において課題となっていた、バス路線網の維持と物流の効率化による地域住民の生活サービス向上を目的に、両社が相互に連携を図りながら取り組みを進めています。

他方で豊岡市には、関西でも有数の温泉地として知られる城崎温泉があり、近年では多くの訪日旅行者が訪れるなど、にぎわいを見せています。従来、多くの旅行者は荷物を持ったまま移動することが多く、身動きがとりづらいために十分に観光を楽しめず、結果として城崎温泉周辺での滞在時間が短くなってしまふという課題がありました。

この度、両社は観光支援の面でも連携を深め、高速バスを利用した「客貨混載」によって城崎温泉から大阪市内のホテルへの手荷物の当日配送を開始し、関西地域を周遊する旅行者のスムーズな観光を実現します。

2. 概要

(1) ご利用の流れ

① 旅行の前

旅行者のお客さまは、事前に全但バスが運営する城崎温泉ツーリストインフォメーション「SOZORO」のサイト、もしくはインバウンド向け宿泊予約サイト「Visit Kinosaki」で、手ぶら観光サービス（ハンズフリートラベルサービス）のご利用を申し込みます。お客さま用に2次元コードが発行されます。

- 城崎温泉ツーリストインフォメーション「SOZORO」<http://kinosaki-info.com/>
- インバウンド向け宿泊予約サイト「Visit Kinosaki」<https://visitkinosaki.com/>

② 城崎温泉で旅館をチェックアウトした後

お客さまが「SOZORO」のカウンターに手荷物を持ち込み、カウンターで事前に発行されている2次元コードをかざすと、宅急便の送り状が発行されます。お客さまは、送り状を手書きする必要もなく、身軽な手ぶら観光を楽しむことができます。

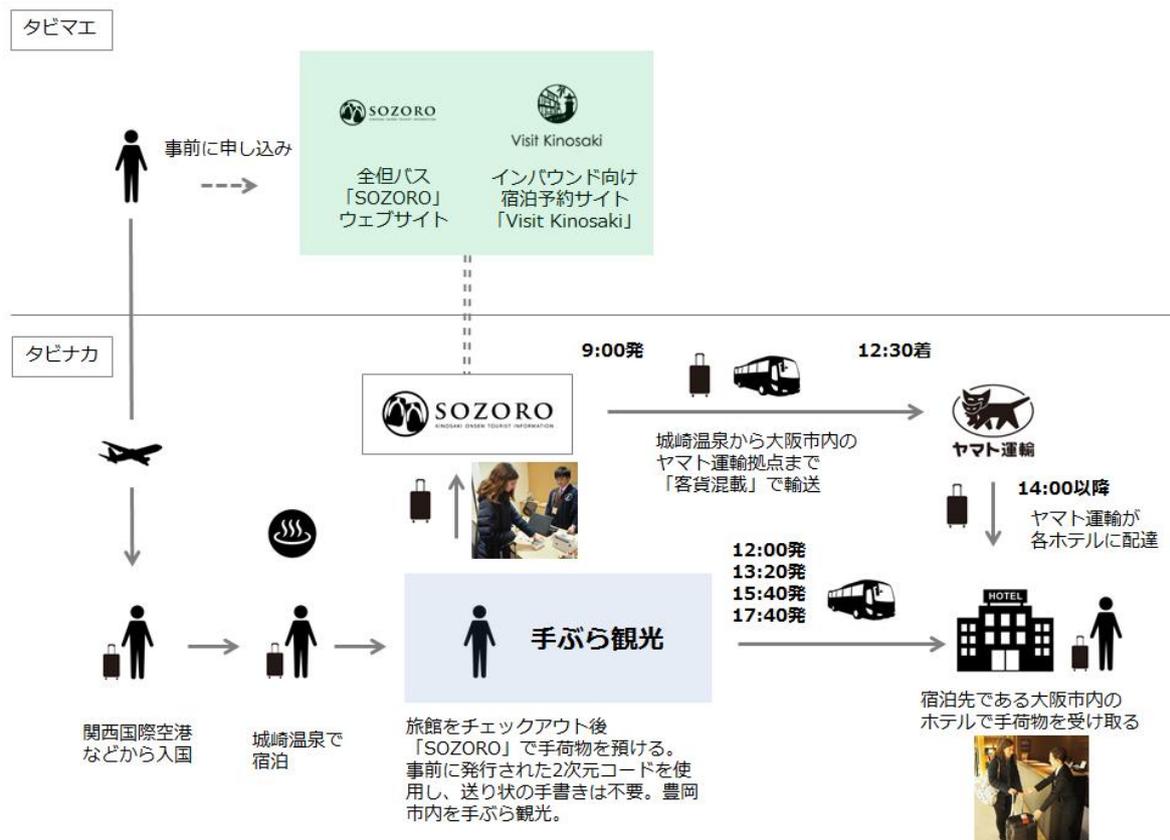
③ 大阪市内のホテルで手荷物を受け取り

お客さまは城崎温泉で預けた手荷物を、宿泊先となる大阪市内のホテル（※）で、チェックイン時に受け取ることができます。（※大阪市内北区・福島区のみ）

(2) 輸送の流れ

「SOZORO」のカウンターでお預かりした荷物は、城崎温泉から大阪市内にあるヤマト運輸大阪大淀支店まで、高速バスによる「客貨混載」で輸送します。大阪大淀支店で行き先ごとに仕分けし、各ホテルへお届けします。

【フロー図】



(3) 料金

2,030 円

※金額は送料のみ。別途、バスに乗車するための運賃がかかります。

3. 旅行者のお客さまにとってのメリット

いままでのように重い荷物を持ったまま移動することなく、身軽に観光を楽しむことができます。また、事前にウェブから申し込めることから、特に外国人のお客さまにとってネックとなる送り状の記入が不要となり、スムーズに宅急便ご利用いただけるようになります。



手荷物を預けるときは「SOZORO」のカウンターで、2次元コードかざすだけで送り状が発行できます。



当日中に大阪市内のホテルで手荷物が受け取れます。

4. 今後について

全但バスとヤマト運輸は今後、増加するインバウンドを含む多くのお客さまに、より便利で快適な観光を楽しんでいただけるようますます連携を強化し、城崎温泉—大阪の区間のみならず、他の地域でも「客貨混載」を活用した手ぶら観光サービスの拡充を検討していきます。

5. 出発式の様子

12月18日（火）11時より、城崎温泉ツーリストインフォメーション「SOZORO」にて、出発式を行いました。

出発式の様子



左から

ヤマト運輸株式会社姫路主管支店長 堀 広伸
国土交通省神戸運輸監理部総務企画部企画課物流対策官 八木 正人氏
国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部首席運輸企画専門官 岩野 住之氏
兵庫県但馬県民局副局長 伊藤 豊氏
豊岡市議会議長 関貫 久仁郎氏
城崎温泉観光協会会長 原 良式氏
全但バス株式会社代表取締役社長 桐山 徹郎

以上